

1. 鶴岡バイオクラスター形成プロジェクト事業

(1) バイオ産業の推進

研究成果の事業化や、研究成果を地域産業に活かす事業をミッションとするバイオクラスター形成プロジェクトを山形県とも積極的な連携を行いながら展開する。

【事業】

①産業誘導・産業形成促進・共同研究創出

i. 産学官研究交流推進事業

バイオ分野における産学官連携の取り組みを全県的なものとし、バイオ研究シーズを活用した新たな共同研究プロジェクトの推進を目的として、山形県と庄内地域産業振興センターと協同し、研究者等の研究交流会、研究発表会等を開催する。

※H24からの継続事業

ii. 市先端研究産業支援センターへの誘致活動・情報収集

市先端研究産業支援センターへの誘致活動を行うとともに、バイオ産業化に資する最新情報収集活動を行う。

iii. サイエンスパーク構想実現に向けた各種支援

サイエンスパーク14haの民間開発を着実に促進するため、各種手続き等への協力や指導を県と連携して行う。本取組は若年層や優れた人材の流入や定着、交流のほか、地域産業の高度化や知識集約型産業の創造や誘致にもつながる公益性を有することから、優良な事例調査、外部資金等の情報収集を行い、官民一体となった事業展開が図られるように各種支援策を実施・検討する。

iv. 合成クモ糸繊維を核とした産業戦略

スパイバー社が進める合成クモ糸繊維の各事業分野への応用がサイエンスパークエリアで着実に展開されるよう、地元企業との連携や県内外の関連企業の誘致、必要な環境整備などを戦略的に展開していく。

②地元企業等との共同研究の促進

i. 「鶴岡漢方プロジェクト」

漢方生薬の産地化に向け、試験栽培を中心とした諸事業に取り組み、漢方生薬栽培方法の知見獲得を目指す。

※H28実績 生薬試験栽培、栽培検討会議の開催など

ii. 地域農産物用途開発プロジェクト

昨年度試験栽培を行った糖資源作物の活用方策の検討をはじめ、地域農産物に関する研究結果や加工技術等の把握を行い、地域農産物の戦略的な活用方法についての調査・研究を行う。

③新たな産学官連携研究の仕組み創出

i. 地域農産物高付加価値化推進事業

慶應先端研の世界最先端の成分分析能力を生かした、地域農産物の高付加価値化（メタボローム認証制度）を図り、域外販売、海外輸出等を推進する基盤づくりを行う。

④研究開発拠点の基盤形成

i. サイエンスパーク構想策定事業

研究開発型企業や研究機関の更なる誘導・集積に向け、サイエンスパークの拡張を視野に入れたサイエンスパーク全体構想を策定し、その事業推進を図る。

⑤研究開発拠点の環境整備

i. サイエンスパーク環境整備事業

ベンチャー企業が研究開発等のためにサイエンスパーク内に整備する事業用水供給設備の設置費用に対する支援を行い、研究開発の促進とサイエンスパークの研究環境基盤の充実を図る。

(2) 市民の健康長寿の推進

市民の健康長寿への取り組みとして、「鶴岡みらい健康調査」を慶應先端研、地域医療関係機関及び市において協同実施する。

①鶴岡みらい健康調査の協同実施

※H24からH26までの同意者数実績11,002名（3年間の目標 10,000名）

i. 推進会議の開催

本調査事業の推進を目的として、関係団体間のオーソライズを図りながら、本調査事業の進捗・運営管理や本調査事業の推進に資する諸案件を検討する「推進会議」を開催する。

※平成25年3月16日に推進会議を設置 平成28実績：平成29年3月4日に開催

ii. 推進セミナーの開催

市民の理解促進及び市民への成果還元を目的として、本研究の概要を紹介するとともに、市で取組む意義やコホート研究が生み出す多様な可能性などについて、市民とともに考えるセミナーを開催する。

※H28実績 平成29年3月5日に第5回セミナーを開催

iii. 地域報告会

市民の理解促進及び成果還元を目的として、各地域における保健事業との連携のもと、市民の健康に資する情報とともに、鶴岡みらい健康調査における活動報告、成果の途中経過報告などを行う。

2. 第7回高校生バイオサミット in 鶴岡 開催事業

日本の科学の将来を支える新しい人材の育成と、科学技術の振興・発展を目的として、バイオサイエンスに興味・関心を持つ全国の高校生が集い、研究発表とディスカッションを行う高校生バイオサミットを開催する。

○日時：平成29年7月27日～7月29日

○会場：鶴岡市先端研究産業支援センター ほか

28実績 第5回サミット（7.31～8.2）を開催（発表数：76作品、参加者数：183名・68校、教職員88名、表彰交付：文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、環境大臣賞、科学技術振興機構賞、慶應義塾賞、県知事賞、市長賞 ほか）

平成29年度新産業創出地域基盤事業〈政策推進枠(まち・ひと・しごと創生総合戦略推進枠)〉

目的

慶應義塾大学先端生命科学研究所を始めとしたバイオテクノロジーに関する地域ポテンシャルを活かし、高度な研究開発機能の集積、ベンチャー企業などの創出、既存産業の高度化などの産業振興、時代が要請する人材育成など、品格ある都市“次世代イノベーション都市”を目指す地域の発展戦略の基盤を形成する各種事業を実施する。

事業内容

□地域産業に活かす

- (1) 産業誘導・産業形成促進・共同研究創出
 - 研究開発型企業や研究機関の共同研究促進
 - サイエンスパーク計画実現への各種支援
- (2) 地元企業等との共同研究の促進
 - 鶴岡漢方プロジェクト
 - 地域農産物用途開発プロジェクト
- (3) 新たな産学官連携研究の推進
 - 農産物高付加価値化推進事業
 - ～農と食のメタボローム研究拠点形成～



H24鶴岡漢方PJ 試験栽培開始



最先端のタボローム解析

□健康長寿に活かす

- (1) 鶴岡みらい健康調査の協同実施（先端研・医療関係機関・市）
 - 推進会議の開催
 - 推進セミナーの開催
 - 地域報告会の開催
 - 健康政策へ活かすための情報収集



H24鶴岡みらい健康調査 スタート



鶴岡みらい健康調査セミナー

慶應先端研が持つ
研究成果・
教育機能を

□バイオ戦略の構築

- (1) バイオ戦略懇談会
- (2) サイエンスパーク基本構想

□ベンチャー企業の創出・育成に活かす

- (1) ベンチャー企業の研究開発の成果を核とした産業戦略展開
- (2) エリア拡張を視野に入れた鶴岡サイエンスパーク構想の策定
- (3) サイエンスパークの研究開発環境の整備・充実



Xpiber本社研究棟

□人材育成、啓蒙・啓発に活かす

- (1) 第7回高校生バイオサミットin鶴岡開催事業



H28高校生バイオサミット 全国各地から高校生・指導教諭が鶴岡市に集結

技術活用

人材育成

啓蒙啓発

技術活用

企業高度化

企業創出

事業拡大

次世代イノベーション都市形成に向けた発展戦略(2016年～2020年)

世界最先端の研究を続ける慶應先端研とベンチャー企業を核に高度人材の集積と交流が生まれ、起業家とベンチャーが育まれる新たな仕組み・環境づくりの推進

鶴岡市総合計画
(H31～H40)
(H29とH30で策定)

鶴岡バイオクラスターの発展を基盤とする次世代イノベーション都市の形成に向けた各種プロジェクトの展開



学術文化都市の形成・発展に向けた4つのプロジェクト

I. 世界最先端の研究を行う慶應先端研支援

- (1) 慶應義塾大学先端生命科学研究教育研究補助金(第4期協定)
- (2) 国立がん研究センター研究所の連携拠点設置による研究活動の促進

II. ベンチャーの事業拡大に合わせた環境整備

- (1) 研究所発ベンチャー企業を核とした産業戦略展開
- (2) 民間主導によるサイエンスパーク計画の着実な推進・支援
- (3) 次世代子育て教育環境整備に向けた支援、運営方法の検討
- (4) サイエンスパーク研究環境(水供給設備)の整備支援(新規)
- (5) 既存エリアと新しいエリアをつなぐ接続通路の整備(新規)

III. サイエンスパーク拡張を含めた新たな構想づくり

- (1) エリア拡張を見据えた鶴岡サイエンスパーク全体構想の策定(拡充)
- (2) サイエンスパーク整備済区域の研究環境強化に向けた調査研究(新規)
- (3) 健康・医療に関する研究成果などを活かした健康福祉都市の形成推進

IV. サイエンスパークを担う研究基盤の誘致育成

- (1) サイエンスパーク入居者内及び地域との交流活動の促進(新規)
- (2) 起業家・ベンチャーを志す若者の人材育成
- (3) 地域農産物高付加価値化事業～農と食のメタボローム研究拠点形成～

サイエンスパーク全体の一体感の醸成、研究基盤環境の向上

- 事業用水供給設備整備に対する助成
- 新しいエリアと既存エリアを結ぶ接続通路の整備

入居者同士の交流創出、研究環境を向上する取り組みの推進

- サイエンスパーク町内会(仮称)の設立
- サイエンスパーク全体でのHP作成・PR活動・視察対応
- 研究者・歩行者の交通安全対策の実施